



※50音順



あらしのよるに

木村 裕一 作

講談社

あらしのよるにまっくらの山小屋で
出会ったオオカミとヤギ。

おたがいを仲間^{なかま}と思いこんだまま

おしゃべりして…

かみ合っているようでかみ合っていない会話、顔も見
ないまま仲よかった二匹は？



うさぎのくれた バレエシューズ

安房 直子 作

小峰書店

バレエをならい始めて5年もたつ
のに、女の子は上手になりません。うまくなりますよ
うに、月にも星にもお願いしますが…。



アンナの赤いオーバー

ハリエット・ジューフェルト 作
松川 真弓 訳

評論社

戦争が終わったら、アンナは新しい
オーバーを買ってもらうことになっ
ていました。でも戦争が終わっても、お

店はからっぽ…

アンナのお母さんは、オーバーを手に入れるため、知
恵^{ちえ}をしぼります。



海へのあさ

ロバート・マックロスキー 作
石井 桃子 訳

岩波書店

サリーが目をさますと、歯が1本ぐ
らぐらしていてびっくりしますが、お
母さんに「大きな子になったというし
るしなのよ」と言われて…。

急に大人になった気分のサリーとまだ小さな妹のある
朝の物語。



ウエズレーの国

ポール・フライシュマン 作
千葉 茂樹 訳

あすなろ書房

なかまはずれにされていた少年ウエ
ズレーは夏休みの自由研究で「自分だけの文明」を作
ることにする。食べ物も服もゲームも、そして「文字」
までも発明して…すると夏休みが終わるころには？！



おとうさんのちず

ユリ・シュルヴィッツ 作
さくま ゆみこ 訳

あすなろ書房

戦争のためふるさとをはなれてく
らす僕たち。住む場所にも食べ物に
もこまっているというのに、なぜかお父さんは1枚の
世界地図を買ってきた…はじめはおこった僕だけど、
その地図は僕に魔法^{まほう}の時間をくれた。



かいぞくポケット シリーズ

寺村 輝夫 作

あかね書房

ふしぎな白ねこアイコのじゅもん
で、海賊^{かいぞく}のおかしらになった少年ポ
ケットが、ジャン、ケン、ポンの三人の子分たちと大
活躍^{かつやく}。おかしな海賊^{かいぞく}たちのゆかいな大冒険！





かしこいポリーと まぬけなおかみ

キャサリン・ストー 作
佐藤 涼子 訳

金の星社

おおかみは、たいへんなくいしんぼう。いつもやわらかい肉のついた女の子を食べたいと思っています。でも、心やさしいポリーは、いつもあぶないところでにげてしまいます。

ユニークな会話がたのしいお話。



シートン動物記

アーネスト・T・シートン 作・絵
今泉 吉晴 訳

童心社

しぜん 自然と動物を愛したシートンが描く生き生きとした動物たちのほんとうの姿。

動物たちの気持ちがわかるようになるかもしれませんね。



車のいろは空のいろ シリーズ

あまん きみこ 作
北田 卓史 絵

ポプラ社

赤いズボンのちびっこ兄弟、山ねこ先生、くま紳士など、ふしぎなお客さまをのせて、松井さんの空いろのタクシーは走ります。



小さい魔女

オトフリート・プロイスラー 作
大塚 勇三 訳

学研

127歳のしんまいの魔女がいました。この魔女は、気のいい魔女で、よい魔女になろうと修行にはげみ、あの手の手の魔法を使います。でもいつも失敗ばかり……。

無邪気でそっかしい小さい魔女の、明るくてユーモラスな物語。



小犬のピピン

ローズマリ・サトクリフ 作
猪熊 葉子 訳

岩波書店

小さくてちょっとこわがりやのチワワのピピンは女の人に大切にかわれていましたが、ある日別れのときがきました…犬をだいいな家族としてくらしした作者の愛情あふれる物語。



小さなスプーンおばさん

アルフ・プリヨイセン 作
大塚 勇三 訳

学研

ある朝、目がさめたら、いきなり茶さじくらいに縮んでしまうスプーンおばさん。気丈なおばさんは少しもあわてず、てきぱきと困難をきり抜けていく。気のやさしいご亭主との静かな暮らしのなかでおこる珍事件を明るくユーモラスに描いた物語。



さっちゃんのまほうのて

しざわ さよこ・田畑 精一・野辺 明子・
先天性四肢障害児父母の会 作

偕成社

生まれつき右手の指がないさっちゃん、自分の手のことを友だちに言われ傷つきますが、お母さん、お父さん、友だち、先生、みんなとのふれあいの中で、自信を取りもどしていきます。



時計つくりのジョニー

エドワード・アーディゾーニ 作
あべ きみこ 訳

こぐま社

物作りが上手なジョニーはほんものの大時計を作ろうと心に決めます。みんなはできっこないと言いますが…。好きなことに夢中になるってすてきなことです。



ともだちのしるしだよ

カレン・リン・ウィリアムズ
カードラ・モハメッド 作
ダーク・チャーカ 絵

岩崎書店

なんみんキャンプで出会ったリナとフェローザは、会いのきっかけになったひと組のサンダルを「ともだちのしるし」にするのですが…。



百まいのドレス

エレナー・エスティス 作
石井 桃子 訳

岩波書店

いつもおなじ服を着ているワンダが「あたし、ドレスを百まい持ってる」と言いはるので、クラスの女の子たちはからかわずにいられませんが…。

差別の問題を、むずかしい言葉を使わずにえがいた名作。



にんきもののひけつ

森 絵都 作
武田 美穂 絵

童心社

花のバレンタイン・デー。おなじクラスのこまつくんはチョコレートを 27 個もらった。ぼくはたった 1 個だけ。

ぼくはこまつくんのにんきもののひけつを探ることにした。



版画のはらうた シリーズ

くどう なおこ 作

童話屋

詩集「のはらうた」が版画になりました。目で見ても、声に出して楽しんでください。

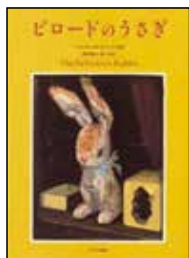


番ねずみのヤカちゃん

リチャード・ウィルバー 作
大社 玲子 絵 松岡 享子 訳

福音館書店

ある家にすむ母さんねずみと子ねずみたちは、人に気づかれぬようしずかにくらしていました。ところが末の子ねずみ「ヤカちゃん」の声の大きいこと。きっと大変なことが起こるでしょう。



ビロードのうさぎ

マージェリィ・W・ビアンコ 原作
酒井 駒子 絵・抄訳

ブロンズ新社

クリスマスに男の子の家に来たビロードのできたうさぎのぬいぐるみ。男の子は、ぼろぼろになっても大切にしてくれました。ところが別れは突然やってきて…。うさぎの身に起こる奇跡とは？



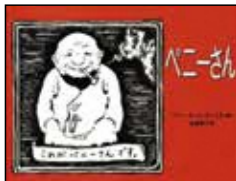
火のくつと風のサンダル

ウルズラ・ウェルフェル 作
関 楠生 訳

童話館出版

くつ屋のチムは、デブでチビでびんぼう。ほかの男の子になつてしまいたいと思ってしまふチム。

でもたんじょう日に、お父さんはチムに「火のくつ」という新しい名前と、すてきな冒険旅行をプレゼントしてくれました。



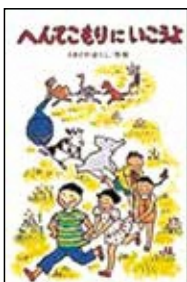
ペニーさん

マリィ・ホール・エッツ 作
松岡 享子 訳

徳間書店

びんぼうでも動物たちと幸せにくらしていたペニーさんでしたが、動物たちがおとなりさんの畑をあらしてしまつて…。

こまつたペニーさんを助けるために動物たちはどんなことをするのでしょうか？



へんてこもりのはなし シリーズ

たかどの ほうこ 作・絵

偕成社

そらいろ幼稚園^{ようちえん}のうらにあるヘンテ・コスタさんがつくった『へんてこもり』では、へんてこでもおもしろいことがおこります。
なかよし四人組がくり広げるおもいもよらない、おもしろさ満点のシリーズ。

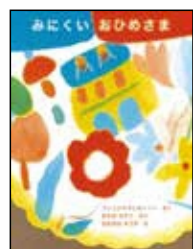


りすのパナシ

リダ・フォシェ 作
石井 桃子 訳

童話館出版

家族とくらしていた子りすのパナシは、ある日、森の番人につかまってしまう。
家族のもとへ帰ろうと、おりをぬけだして…パナシは家族に会うことができるのでしょうか。



みにくいおひめさま

フィリス・マッギンリー 作
間崎 ルリ子 訳

瑞雲舎

むかしある王国に、ひとりっこの王女がいました。「みにくい」ことをのぞけば世界一しあわせな王女でした。
王さまは王女を美しくできるものにほうびをあたえたとおふれを出して…。



ルドルフと イッパイアッテナ

齊藤 洋 作

講談社

ひよんなことから、トラックに乗って家からずっとはなれた所に来てしまった黒猫のルドルフは、ボス猫イッパイアッテナと出会い…。
とびきりゆかいな、のらねこ生活がスタートする。



ラングリーのみみ

ユリア・ゴシュケ 作
徳永 玲子 訳

ポプラ社

ラングリーのながい耳は、いつもラングリーのじゃまばかり。
おにごっこをしても転んでしまうし、かくれんぼをしてもすぐにみつかってしまいます。
「どうしてぼくだけこんなにながい耳なんだろう…。」



わたしと小鳥とすずと

金子 みすゞ 作

JULA 出版局

タイトルにもなっている「わたしと小鳥とすずと」など、金子みすゞといえば…といった60編^{へん}の詩。
みすゞとの出会いにおすすめの本。

おわりに

ここでは、小学校3・4年生に「おすすめ本30冊^{しょうかい}」を紹介しています。

選書^{せんしよ}にあたっては、各小・中学校の先生方のご意見^{いけん}をもとに、熊本市立図書館司書^{ししよ}が選定^{せんてい}を行いました。図書館などで本を選ぶ際に、お使いください。

図書館には、他にも楽しい本がたくさんあります。みなさんの心を動かす1冊と出会えることを願っています。



編集発行

熊本市立図書館

〒862-0971 熊本市中央区大江6丁目1-74

TEL:096-363-4522 FAX:096-372-4252

ホームページ

https://www.library.city.kumamoto.jp/?page_id=289